

# 春の叙勲・褒章

# 受章者紹介

政府は、4月8日付で「第28回危険業務従事者叙勲」受章者を、4月28日付で「平成29年春の褒章」受章者を、4月29日付で「平成29年春の叙勲」受章者をそれぞれ発表しました。叙勲と褒章は、長年にわたりさまざまな分野で社会に貢献された人に贈られるものです。市内では次の皆さんが受章されました



**旭日双光章**  
【司法書士功労】  
菊池 隆 さん  
(中野町・72歳)

昭和54年に司法書士登録し、平成19年から3期6年間、岩手県司法書士会会長を務めました。法律に関する相談を受け、多くの複雑な事案に対応。また、東日本大震災の発生後には沿岸で無料巡回相談を行い、相続問題などの解決を支援しました。これまでを振り返り「人に安心してもらうことを生きがいに続けられている」と話していました。



**瑞宝小綬章**  
【農林水産行政事務功労】  
おさよし  
三田 長義 さん  
(北鬼柳・72歳)

昭和41年に旧農林省に入省し、近畿農政局農村計画部長として退職するまでの38年間、農業生産基盤の整備などに尽力しました。主に携わったのは土地改良に関する業務。農家などの関係者と直接話をする中で意見を把握し、事業などに反映させました。受章について「上司や先輩、関係者の皆さんのご支援のたまもの」と感謝していました。



**瑞宝双光章**  
【教育功労】  
あきら  
深澤 瞭 さん  
(柳原町・70歳)

昭和44年に教員となり、黒沢尻西小学校長として退職するまでの38年間、教職に携わりました。1クラスの授業を2人の教員で行う「チーム・ティーチング」の研究などを推進。子どもたちの学力向上に努めるとともに、一人一人の長所を認め、健全育成にも励んできました。受章について「恐縮すると同時にありがたい」と話していました。

晴れの受章

おめでとございます



**瑞宝双光章**  
【鉄道業務功労】  
北條 哲郎 さん  
(川岸・78歳)

昭和33年に旧日本国有鉄道に入社し、JR東日本一ノ関駅長を務めるなど33年間、鉄道業務に尽力しました。連結手や車掌などの現業職のほか、管理職として花巻駅長、青森車掌区長などを歴任。受章について「蒸気から電気への動力変遷など鉄道の歴史と未来に立ち会えた。諸先輩や同僚の指導と協力、家族の支えに感謝している」と話していました。



**瑞宝単光章**  
【消防功労】  
伊藤 利一 さん  
(下江釣子・78歳)

昭和36年から35年間にわたり消防団員として防災・防火活動に励みました。印象に残っているのは、昭和46年に旧江釣子村立第二小学校で起きた火災。他の団員と協力してせきから水をくむなどして消火活動を行い、延焼を防ぎました。長年の消防団活動を振り返り「役職を譲ってくれた同僚や、支えてくれた家族に感謝したい」と話していました。



**瑞宝単光章**  
【郵政業務功労】  
小菅 公陽 さん  
(平沢・69歳)

昭和41年に旧郵政省に入省し、総務事務官として退職するまでの35年間、市内外の郵便局で郵政業務に携わりました。二子郵便局時代の簡易保険業務では、東北の局で一番の成績を収めるという目標を立て、局員一丸となって達成。長年の職務を振り返り「家族の理解や協力、職場や地域の皆さんに恵まれた」と話していました。



**瑞宝単光章**  
【統計調査功労】  
筒井 尚七 さん  
(二子町・76歳)

昭和47年に岩手県農林業統計調査員に任命されて以来、平成27年の国勢調査まで43年間調査員を務めました。地域の世帯をはじめ、事業所や企業を訪問し調査に尽力。また、岩手県統計グラフコンクールに出品し、8年連続で特選となるなど、統計思想の普及にも寄与しています。受章について「地域の皆さんの協力があったから」と感謝していました。



**藍綬褒章**  
【統計調査功績】  
武田 忠志 さん  
(和賀町長沼・84歳)

昭和39年に岩手県農林業統計調査員に任命されて以来、平成27年の国勢調査まで51年間調査員を務めました。携わった調査は、国勢調査や農林業センサスなど合計46回。留守の世帯にも何度も足を運び、調査活動に尽力しました。受章について「自分の役目と思っ



**瑞宝双光章**  
【消防功労】  
菊池 福夫 さん  
(村崎野・66歳)

昭和44年から北上市消防士として勤務し42年間にわたり、地域の安全・安心のため消防防災業務に貢献しました。東日本大震災の際は、北上消防署長として指揮を執り、市内の消防活動のほか沿岸地域への応援派遣に尽力。長年の業務を振り返り「つらいこともあったが、好きな仕事だったから続けてこられた」と話していました。

## 危険業務従事者叙勲

## 褒章